

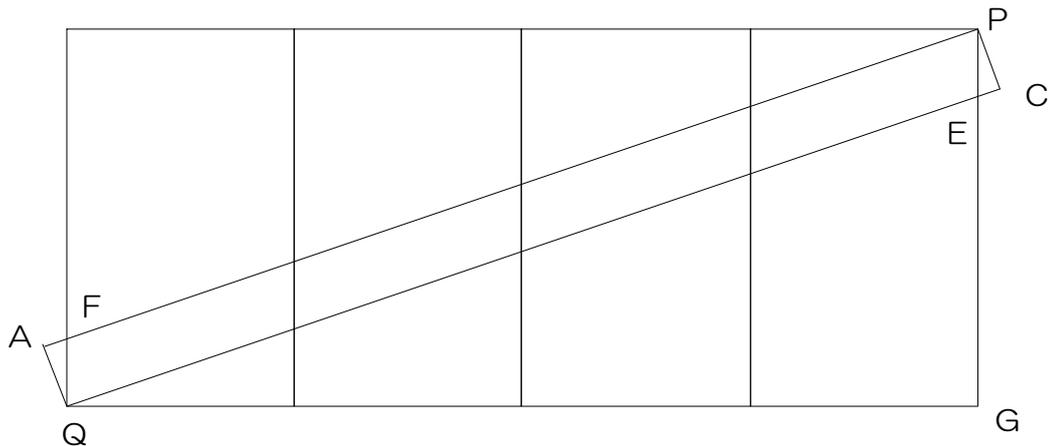
算数オンライン塾 4月27日の問題 解説

(1) 四角形FBEDの面積は 120cm^2 です。三角形ECDの面積は $4 \times 3 \div 2 = 6\text{cm}^2$ ですから、四角形ABCDの面積は $120 + 6 \times 2 = 132$
 $132 \div 4 = 33\text{cm}$ がADの長さです。

(答え) 33cm

(2)

直方体の側面を開くと下図のようになります。



ここで、角PECと角GEQは同じなので、三角形EGQもまた3:4:5の直角三角形であることがわかります。EQ= $33 - 3 = 30\text{cm}$ ですから、EG= $30 \div 5 \times 3 = 18\text{cm}$
QG= $30 \div 5 \times 4 = 24\text{cm}$ です。

PE= 5cm ですから、PG= $5 + 18 = 23\text{cm}$

(答え) 23cm

(3)

$24 \div 4 = 6\text{cm}$ が直方体の底面の正方形の1辺の長さですから、
 $6 \times 6 \times 23 = 828$

(答え) 828cm^3